

あわみなと通信

暮らしを支える港湾と空港の話

報告 リフレッシュ瀬戸内

「リフレッシュ瀬戸内」とは、「受け継ごう きれいで豊かな瀬戸の海」を合言葉に、瀬戸内海沿岸の国、県、市町村等の関係機関で構成される「瀬戸内・海的路ネットワーク推進協議会」の事業として、地元住民や企業、団体等多くのボランティアの参加により、平成5年から毎年行っている海岸清掃活動です。活動期間については、例年2ヶ月（6月1日～7月31日）の海水浴期間前を対象として実施していたものを、昨年は強化年として、海水浴期間後も含む3ヶ月（6月30日～8月31日）に延長したところ、瀬戸内海沿岸322ヶ所、62,615人の参加を受け、約514トンのゴミを回収し、例年以上の効果が現れました。今年も、引き続き6月～8月の3ヶ月間を取組期間とする予定です。

当事務所では、6月2日の鳴門市大毛海岸での清掃活動と、6月5日の阿南市北の脇海岸、6月13日の小松島市横須・金磯海岸での清掃活動に参加しました。大毛海岸では、幼稚園児、小学校児童を中心に、プラスチック、空き缶、ペットボトル、花火等のゴミが集められました。また、北の脇海岸、横須・金磯海岸では、清掃活動を行うとともに、当事務所の海面清掃船「みずき」を参加させて海上からも啓蒙活動を行い、多くの方々に海岸の美化について興味を持っていただけたと思います。小松島市では清掃活動と同時に地元の漁業組合の協力によって海水浄化のための「アサリの放流」が実施されました。今後もこういった活動に積極的に取組み、多くの人々に参加してもらうことで、将来生まれてくる子供たちに、より美しい海岸を引き継ぐことが出来ればと考えています。

※7月には徳島市小松海岸、阿南市今津海岸、出島海岸でも休日を利用して、地元の自治体とボランティア団体などによって清掃活動が行われる予定です。



◆ 鳴門市 大毛海岸（6月2日）

◆ 阿南市 北の脇海岸（6月5日）

◆ 小松島市 横須・金磯海岸（6月13日）

INDEX▶

- みなと報告／リフレッシュ瀬戸内 1
- みなとインフォメーション／浅川港 2
- なるほどみなと講座／徳島県のフェリー貨物 3
- みなと通信／小松島ビジターハーバーフェスティバル、みなとまつり 4